

2024年度 シラバス(授業内容)

昼間部 1 年
エアライン科 キャビンアテンダントコース
エアポートコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。

(2) 専門科目: 各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2024 年度昼間部 1 年 エアライン科 キャビンアテンダントコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	6	8	2	3	19
	専門科目	20	29	16	11	76
合計		26	37	18	14	95

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期				
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	
共通科目	ホスピタリティ I	演	1	15	ホスピタリティ II	演	1	15									
	キャリアデザイン I	講	2	30	キャリアデザイン II	講	5	75									
	ビジネスコミュニケーション I	講	1	15									ビジネスコミュニケーション II	講	1	26	
	パソコン I	演	1	15	パソコン II	演	1	15	パソコン III	演	1	26	パソコン IV	演	1	26	
	Let's Speak English I	演	1	15	Let's Speak English II	演	1	15	Let's Speak English III	演	1	26	Let's Speak English IV	演	1	26	
	小計		6	90	小計		8	120	小計		2	52	小計		3	78	
必修科目	English Communication I	演	2	30	English Communication II	演	2	30	Airline English I	演	1	26	Airline English II	演	1	26	
	TOEIC Advanced対策 I	講	4	60	TOEIC Advanced対策 II	講	4	60	TOEIC Advanced対策 III	講	2	52	TOEIC Advanced対策 IV	講	1	26	
	Ideas&Opinions / 英語基礎文法 I	演	1	15	Presentation Skills / 英語基礎文法 II	演	1	15	中国語 / 韓国語 I	講	1	26	中国語 / 韓国語 II	講	1	26	
	身だしなみ講座	演	2	30					社会人準備講座	講	1	26	手話講座 I	演	1	26	
	エアライン概要 I	演	1	15	エアライン概要 II	演	1	15	手話講座 II	演	1	26					
					エアライン受験対策	演	1	15	ニュースディスカッション	演	1	26	電話応対ベーシック II	演	1	26	
	CA実技 I	講	2	30	CA実技 II	講	2	30	電話応対ベーシック I	演	1	26					
	CA実技 II	演	2	30	CA実技 III	演	2	30	CA講座 III	講	1	26					
	アマデウス I	演	2	30	アマデウス II	演	2	30	ワイン&カクテル入門	講	1	26					
	ワールドデスティネーションズ I	講	2	30	ワールドデスティネーションズ II	講	2	30	アマデウス III	演	1	26					
	エクササイズ I	演	2	30	エクササイズ II	演	2	30	ワールドデスティネーションズ III	講	1	26					
					Airport Study	演	2	30	エクササイズ III	演	1	26					
					TOEIC Advanced集中講座	講	2	30	危険物取扱講座	講	1	26					
					海外語学留学	演	5	75	卒業制作 I (CSコンテスト)	演	2	52	卒業制作 II (CSコンテスト)	演	2	52	
		小計		20	300	小計		29	435	小計		16	416	小計		11	302
計	1年前期 合計		26	390	1年後期 合計		37	555	2年前期 合計		18	468	2年後期 合計		14	380	
	1年 合計		63		2年 合計		945		2年 合計		32		848				
	2年間 総合計		95		1,793												

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
行事・研修	オリエンテーション スポーツ大会 ユニバーサルマナー	就職ガイダンス 中村学園祭 赤十字講習 AAセミナー	オリエンテーション スポーツ大会	中村学園祭

2024 年度昼間部 1 年 エアライン科 エアポートコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	6	8	2	3	19
	専門科目	20	29	16	11	76
合計		26	37	18	14	95

各期全単位を取得すること。

必修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期				
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	
共通科目	ホスピタリティ I	演	1	15	ホスピタリティ II	演	1	15					ビジネスコミュニケーション II	講	1	26	
	キャリアデザイン I	講	2	30	キャリアデザイン II	講	5	75					パソコン IV	演	1	26	
	ビジネスコミュニケーション I	講	1	15					パソコン III	演	1	26		Let's Speak English IV	演	1	26
	パソコン I	演	1	15	パソコン II	演	1	15	Let's Speak English III	演	1	26					
	Let's Speak English I	演	1	15	Let's Speak English II	演	1	15									
	小計		6	90	小計		8	120	小計		2	52	小計		3	78	
必修科目	English Communication I	演	2	30	English Communication II	演	2	30	Airline English I	演	1	26	Airline English II	演	1	26	
	TOEIC対策 I	講	3	45	TOEIC対策 II	講	3	45	TOEIC対策 III	講	2	52	TOEIC対策 IV	講	1	26	
	Ideas & Opinions / 英語基礎文法 I	演	1	15	Presentation Skills / 英語基礎文法 II	演	1	15	中国語 / 韓国語 I	講	1	26	中国語 / 韓国語 II	講	1	26	
	身だしなみ講座	演	2	30					社会人準備講座	講	1	26	手話講座 II	演	1	26	
	エアライン概要 I	演	1	15	エアライン概要 II	演	1	15	ニュースディスカッション	講	1	26					
	カウンター実技 I	演	1	15	エアライン受験対策	講	1	15					電話応対ベーシック II	演	1	26	
					カウンター実技 II	演	1	15	エアライン実務 I (貿易)	講	1	15					
					通関ビジネス検定対策	演	1	15	エアライン実務 II (フォワード)	講	1	26					
	空港旅客サービス実務 I	講	2	30	空港旅客サービス実務 II	講	2	30	電話応対ベーシック I	演	1	26	電話応対ベーシック II	演	1	26	
	グランドハンドリング実務 I	演	1	15	グランドハンドリング実務 II	演	1	15	空港旅客サービス実務 III	講	1	26					
	カーゴハンドリング入門	講	1	15	エアカーゴ実務 I (貿易)	講	1	15	危険物取扱講座	講	1	26					
	アマデウス I	演	2	30	アマデウス II	演	2	30	エアカーゴ実務 II (フォワード)	講	1	26					
	ワールドデスティネーションズ I	講	2	30	ワールドデスティネーションズ II	講	2	30	アマデウス III	演	1	26					
	エクササイズ I	演	2	30	エクササイズ II	演	2	30	ワールドデスティネーションズ III	講	1	26					
					Airport Study	演	2	30	エクササイズ III	演	1	26					
				TOEIC集中講座	講	2	30	卒業制作 I	演	2	52	卒業制作 II	演	2	52		
				海外語留学	演	5	75					企業実習 / ボランティア	実	4	120		
	小計		20	300	小計		29	435	小計		16	416	小計		11	302	
計	1年前期 合計		26	390	1年後期 合計		37	555	2年前期 合計		18	468	2年後期 合計		14	380	
	1年 合計		63	945	2年間 総合計		95	1,793	2年 合計		32	848					

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
行事・研修	オリエンテーション スポーツ大会 ユニバーサルマナー	就職ガイダンス 中村学園祭 赤十字講習 AAセミナー	オリエンテーション スポーツ大会	中村学園祭

共通科目

シラバス(授業計画)

科目名	ホスピタリティⅠ・Ⅱ		科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	黒坂 明子			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	<p>ホスピタリティマインドとは「相手の立場に立って考え、相手を慮る心」です。 お客様に接客するうえで必要な知識やマナーの実践に、ホスピタリティマインドを活かせるようサポートします。 心理学の知見を応用し様々な角度から自分自身を振り返り、自己肯定感や行動変容の重要性を学びます。ワークを通して「気づき」を促しながら人間力を高め、気持ちよくおもてなしが発揮できるよう、ITHBの教育理念に基づいた「ホスピタリティ豊かな人材の育成」のゴールを目指します。</p>			
到達目標	<p>あらゆるタイプの人とも上手に交流できるようになる 周りから見られている自分のイメージを確認し、自己改善を図る おもてなしの心を形にできるようになる</p>			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	ホスピタリティマインド養成ワークブック (株)ホロス人材開発研究所)			
授業計画	<p>【ホスピタリティの理解 「プラスの視点」の重要性】 ・ホスピタリティとは・・・ ・他己紹介による自分表現 ・マイナス思考とプラス思考 ・マイナス思考に陥った場合の対処行動</p> <p>【ホスピタリティマインドの確立】 ・他者理解・他者受容 ・価値観とは？・グループ討議 ・自分の物の見方や考え方を知る ・相手を受け入れることの重要性</p> <p>【ホスピタリティマインドの発揮 豊かな触れ合いのために・・・】 ・ストローク(触れ合い)の理解 ・ストローク演習・DVD観賞 ・自画像と他画像の違い・他者からの自分のイメージを知る ・気づきと自己改善の勧め</p> <p>【ホスピタリティサービスの本質】 ・モノ的なサービスとヒト的なサービス・CSと顧客心理 ・ホスピタリティ産業について ・ディズニーにおけるおもてなし ・「おもてなしの心」を「形」に・・・</p>			
成績評価 方法	試験、授業態度、出席日数 (下記評価基準に基づく)			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 85 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

社会人になる前の貴重な学生生活が始まります。
 新たな友人との出会いと、様々なことへのチャレンジを通して、自分を今より素敵に変えてみませんか？

シラバス(授業計画)

科目名	キャリアデザイン I・II			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：5単位	時間数	前期：30時間 後期：75時間
担当	就職担当				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>				
授業概要	<p>専門学校への入学は、就職を前提とした各人の進路を見出すことが大きな意義です。就職をする上で最も重要なことは自分を知ることです。当授業では、職業人としての心構えを身に付け、ツールを使用した自己分析を行い、自分の強みや他者理解について学びます。</p> <p>就職活動開始までに必要な事項を学び、演習を通じて就職活動本番で結果を出せるよう自信をつける授業です。就職活動は各自の目指す業界、企業により開始時期が異なるため、授業をベースとしながら個々の進行に応じて個別にバックアップし、内定に向けたサポートを行います。</p>				
到達目標	<p>1、社会人へのステップに繋がる職業人としての基礎知識とマインドを身につける。</p> <p>2、学生生活や人間関係、将来の仕事などで役に立つ自分の強みについて知る。</p> <p>3、就職活動の基本的な考え方を理解し、実践に備える。</p> <p>4、内定を勝ち取るための準備を進め、就職活動を通じて社会で通用する人材を目指す。</p>				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	<p>「LIFO テキスト」(株ビーコンラーニングサービス)</p> <p>「個人レポート」(株ビーコンラーニングサービス)</p> <p>「質問紙」(株ビーコンラーニングサービス)</p> <p>専門学校生のための就職内定基本テキスト(日本能率協会マネジメントセンター)</p>				
授業計画	<p>【職業とキャリア】 人はなぜ働くのか？仕事と職業、職業の三要素、働くことの意義と目的 職業の形態と種類、職業選択と自分がめざす生き方、職業人としてのマインド、生活の自立と自律、最近の社会事情</p> <p>【自己理解】 LIFOの基本的考え方の理解、コミュニケーションと自己理解の関係、自己理解3つの方法、自己点検実施と発表、ライフライン記入、自己分析シート記入、LIFO(ライフオ)質問紙記入と採点、4つのスタイルの具体的理解、診断分析、個人レポート作成、自分の強みの整理、自己分析シート(強みの過剰使用)への落とし込み、4つのスタイルとアプローチ、失敗経験と分析、自分のスタイルと他者スタイルの理解</p> <p>【就職活動実践】 就活の流れ、就活サイト登録と使用方法 求人票の見方、雇用形態、社会保険、年金制度 自己分析、他己分析 自己PR作成、履歴書・ES作成ポイント、企業研究、志望動機対策 面接演習、GPワーク試験対策、小論文演習、SPI対策と模擬試験演習、企業セミナー</p>				
成績評価 方法	期末試験の得点ならびに出席率がメインとなります。平常点は就職活動(進路活動)の取り組む姿勢、授業態度、提出物などが評価基準です。				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 85 点以上 かつ 出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 65 点以上 かつ 出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 40 点以上 かつ 出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	ビジネスコミュニケーション I			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義
実施期	1年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間
担当	井部・橋本・担当講師				
	実務経験 : 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無				
授業概要	目的: 観光業界の社会人として最低限のビジネスマナーを理解・実行できる事。 概要: ビジネスシーンで誰もが当たり前に行動している挨拶や言葉遣い、接遇を学びます。				
到達目標	1 年次夏休みの実習や後期から開始される就活で、自信をもって行動できるようになる。				
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称: 秘書検定				
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社				
授業計画	<p>【挨拶と人間関係】 挨拶の重要性 第一印象の重要性 相手に良い印象を与えるコツ</p> <p>【社会人心得】 自己管理・4つのポイント 社会人としてのルール 報告・連絡・相談</p> <p>【敬語を使いましょう】 敬語の種類 正しい敬語の使い方 接遇用語の表現 接遇の立ち振る舞い(受付、名刺の受け取り方)</p> <p>【実践! ビジネスコミュニケーション】 上手な聞き方、話し方 命令・指示、忠告・注意の受け方 電話の受け方と取り次ぎ方、メモの残し方 領収書の記入方法</p>				
成績評価 方法	評価試験には期末試験の他、演習試験や小テストを含みます。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 85%以上、平常点優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	パソコン I・II		科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数 前期：15 時間 後期：15 時間
担当	担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	パソコンスクールにてインストラクターとして実務経験あり		
授業概要	現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです。 基礎的なPC操作を理解するとともに、Word・Excel の基本操作を修得します。			
到達目標	アプリケーションの起動やファイル操作をはじめ、Word・Excel を使用した簡易的な文書作成ができることを目標とします。 また、文書作成において重要なタッチタイピングスキルを“ホームポジションを意識して両手で文字が打てるレベル”まで伸ばしましょう。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称: マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定・Word 文書処理技能認定試験 Excel 表計算処理技能認定試験・PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験			
教科書 教材	・「30 時間アカデミック情報リテラシー Office2016 」(実教出版) ・ USB メモリ			
授業計画	<p>【 PC 基本操作の確認 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーションの立ち上げや、基本的なファイル操作 ・ホームポジションを意識したタッチタイピングの練習 <p>【 Word 基本作業 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章入力(ベタ打ち)と併せて、文字装飾を行う ・ワードアート、図形描画、テキストボックス等を利用し、表現力のある文書ファイルを作成する ・ビジネス文書の基礎と仕組みを学び、挨拶文の挿入、入力オートフォーマット、表作成等を使いこなす <p>【 Excel 基本作業 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ入力の基礎を学ぶ ・数式を用いた計算をはじめ、基本的な関数を利用した表計算機能を使いデータファイルを作成する ・関数を利用して作成したデータをグラフへ変換し、視覚的分析の方法を学ぶ 			
成績評価 方法	※授業への参加度や授業態度などを加味して、平常点は 20 点満点とする。(上記評価点数に組み込まれる) ※Word・Excel 共に、文書ファイル作成を課題として提出する。			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、課題提出、平常点 15 点以上優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、課題提出、平常点 10 点以上良 C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、課題提出、平常点 5 点以上可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、課題未提出、平常点 5 点未満不可			

学生へのメッセージ

現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです。さまざまな企業で日常的にパソコンを使用して業務を行います。「スマートフォンの方が使いやすい」「スマートフォンなら文字を早く打てる」という意見もありますが、就職してから戸惑わないよう、前向きに学習してみましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	Let's Speak English I・II		科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	語学担当講師			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>			
授業概要	Anyone can speak English with foreigners with some effort. Simple key sentences and concepts are practiced through conversation, listening, and activities. Classes are divided by level, but all classes are taught in English only, with a native English speaker.			
到達目標	Communication in simple English about everyday topics. Students will be able to communicate with people from different countries and cultures.			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)			
授業計画	<p>【New Friends】 Greetings, self-introductions, asking for personal information.</p> <p>【Interests】 Music, movies, time, sports.</p> <p>【People】 Family, personality, clothes.</p> <p>【Daily Life】 Routines, sequences, be -ing.</p>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験(理解度)49%以下、出席率 60%未満、平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

Don't be shy! Do your best!
Use this great chance to practice speaking as much as possible in a small group.

キャビンアテンダントコース

専門科目

シラバス(授業計画)

科目名	English Communication I・II		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 : 2 単位 後期 : 2 単位	時間数 前期 : 30 時間 後期 : 30 時間
担当	Native teacher			
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	Students will improve their English communication skills with a variety of conversation, speaking and activity-based classes with a native English teacher.			
到達目標	Students will become used to interacting with a native English speaker, and learn a variety of English skills that they will be able to use in future at work and when travelling and studying abroad.			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	Stretch: Level 1: Student Book with Online Practice (Oxford)		3,454 円	
授業計画	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> - Jobs - Daily Activities - At the Moment - Feelings - On the Weekend - Downtown <p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> - People we Admire - At the Supermarket - Health Problems - Cities - Music - Travel Plans 			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験 60 点以上、出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D: 評価試験 60 点未満、出席率 60%未満、平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC Advanced 対策 I・II			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：4単位 後期：4単位	時間数	前期：60時間 後期：60時間
担当	担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	英語によるコミュニケーション能力評価する世界の共通テストである。 現在ほとんどの企業は TOEIC スコア保持者を採用条件として設定している。				
到達目標	航空会社の場合は 600 点～700 点を最低条件とする、その目標スコア獲得する。 さらにハイスコアを在学中に目指し、取得し、付加価値をつけて就職を有利にする。				
検定資格	なし・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修・任意 名称: TOEIC				
教科書 教材	Effective approaches to grammar and reading on the TOEIC test 朝日出版社 TOEIC L&R 公式ボキャブラリーブック IIBC 適時コピー配布対応				
授業計画	<p>【Listening 演習】 写真描写問題／応答問題 公式問題集を使用して演習問題を反復</p> <p>【Listening 演習】 会話問題／説明文問題</p> <p>【Reading 演習】 短文穴埋め問題／長文穴埋め問題</p> <p>【Reading 演習】 読解問題／1つの問題／2つの問題</p>				
成績評価 方法	毎回の小テスト実施(vocabulary & Collocation)				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 70%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 70%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

在学中に目標スコアを絶対に取得する！！

シラバス(授業計画)

科目名	Ideas & Opinions		科目区分	専門科目
対象	エアラインキャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数
担当	担当講師: 小野寺和子			
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	21世紀に入り、ビジネスの世界ではプレゼンテーションの重要性が近年ますます高まっています。学生が高い関心を持つトピックを選び、(、喫煙・飲酒、携帯電話、結婚など)それぞれの論点を把握、それに関する英語表現を学びコミュニケーション能力を高める			
到達目標	国際共通語である英語で、自己表現と、議論ができるようになることを目的とする。 学内の Speech Contest の際に上位入賞を目指す。(実績としては優勝、準優勝など)			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	Which side are you on? 成美堂			
授業計画	<p>【Cell phone/ life style】 Reading → 論点を見つける → Pros & Cons → 議論の手法を学ぶ → 発展応用練習</p> <p>【Should we marry earlier or later】 Reading → 論点を見つける → Pros & Cons → 議論の手法を学ぶ → 発展応用練習</p>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率60%以上、平常点 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率60%未満、平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

What matters most is to express why you think!!

シラバス(授業計画)

科目名	英語基礎文法Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース			授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	湊 さやか				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>				
授業概要	TOEIC や英会話で活用できる英文法の基礎をしっかりと理解できるように解説をしていきます。また、解説と同時に TOEIC で通用する問題を解いていくことで TOEIC の得点アップを目指していきます。				
到達目標	基礎的な英文法をしっかりと理解し、TOEIC や英会話に応用できるようになる。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	TOEIC テスト英文法をひとつひとつわかりやすく Gakken ¥1540				
授業計画	<p>【品詞】</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの品詞の役割を理解する <p>【時制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在形、過去形、未来形、完了形それぞれの特徴と意味を理解する <p>【分詞】</p> <ul style="list-style-type: none"> 分詞の特徴と意味を理解する <p>【受動態】</p> <ul style="list-style-type: none"> 受動態の構成と使い方を理解する <p>【不定詞と動名詞】</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの構成と意味、違いを理解する <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際の問題を通して、理解を深める 				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験(理解度)50%未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	身だしなみ講座		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期	単位数	前期 2 単位	時間数
担当	秋元幸子			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	美容業界にて実務経験あり。		
授業概要	自身の美しさを最大に引き出すメイクアップ理論と技術を基本から学びます。更に、長時間の撮影にも崩れず美しさをキープする女優メイクのプロ技術や裏ワザを修得することができます。カラーコーディネートや TPO に合わせたメイク、リクルートメイクとヘアも学びます。			
到達目標	基本のメイクアップ理論と技術の取得で、自身の美しさを引き出し、自信をもってリクルートメイクとヘアを完成できるレベルになる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>【メイクアップ理論 1/メイクアップ理論 2/スキンケア 1/スキンケア 2】 メイクアップの目的と意義 光と色、カラーコーディネート お肌と心と体の関係性、デドックス等 基礎化粧品の使用法と効果とお手入れ方法</p> <p>【クレンジング/ベースメイクアップ技術 1/ベースメイクアップ技術 2/ベースメイクアップ技術 3】 ポイントクレンジングと全体クレンジングのプロセス ベースメイクアッププロセスと基本の指使い コントロールカラー、ファンデーション、ハイライト フェイスパウダー等使用法復習</p> <p>【メイクアップのポイントとカラーコーディネート】 眉の描き方、アイホールの確認、アイシャドウ、チーク、リップ 美しい肌作り、まつげカール、シェーディング</p> <p>【メイクアップのポイント/TPO に合わせたメイクアップ 1/TPO に合わせたメイクアップ 2】 冠婚葬祭、日常のシーンでのメイクアップ まとめ</p> <p>【リクルートメイク、ヘア 1/リクルートメイク、ヘア 2/リクルートメイク、ヘアの完成】 リクルートメイク、ヘアの理論と実習 リクルートメイク、ヘアの実習 リクルートメイク、ヘアを完成し、作品公表と評価</p> <p>【授業全体のまとめ】 まとめとテスト</p>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)90%以上、出席率 100%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	エアライン概要Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。		
授業概要	<p>エアライン業界の現状を知ることが目的の講座です。</p> <p>【Ⅰ・前期】 航空業界の基礎知識を学習する。 学んだ知識を基に、グループ毎にテーマに沿ったプレゼンテーションを行う。</p> <p>【Ⅱ・後期】 課題を通して業界の変わりゆく現状を理解・把握した上で、就職活動につなげていく。 興味を持ったエアライン業界のニュース(業界の最新情報)について調べ、要約し考察して発表する。</p>			
到達目標	<p>○エアライン業界の基礎知識を習得し、最新情報を理解し、業界の現状を把握する。</p> <p>○グループワークを通して知識を定着させ、コミュニケーション力と協調性を体得する。</p> <p>○課題を通して就職活動に必要な企業研究の進め方を身に付け、自分の意見をまとめる力を培う。</p> <p>○発表・質疑応答を通して、社会人として必要な言葉遣いや文章構成力・伝わる話し方を身に付ける。</p>			
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ <input type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 任意 名称:			
教科書 教材	適宜プリント配布			
授業計画	<p>【航空業界基礎知識（Ⅰ・前期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ前とコロナ後の航空業界の現状 ○日本に乗り入れている外資系航空会社と日系航空会社 ○LC / MCC / LCC ○成田・羽田とその他の国内外の主要空港について ○「ポイント to ポイント」と「ハブ and スポーク」 ○アライアンス ○マイレージプログラム ○航空機メーカーと主要機種 (順序不同) <p>【グループワーク：プレゼンテーション（Ⅰ・前期）】 基礎知識として学習した内容を基に、グループ毎にテーマに沿ったプレゼンテーションの準備をし、発表する。</p> <p>【ニュースサマリーと発表（Ⅱ・後期）】 課題として、毎週各自が興味を持った業界ニュースを1つ選び、調べ、要約、考察したものをノートにまとめる。 授業では、まとめた内容を希望者が発表する。質疑応答で答えられなかった件は、再課題として次回までに調べて発表する。発表者・質問者共に講師からフィードバックを受ける。</p>			
成績評価 方法	<p>【前期】 期末試験・出席状況・プレゼンテーション及びグループワークへの貢献度・授業参加意欲などを総合評価して判断する。プレゼンテーションを欠席した場合は、平常点(100点満点)から50点をマイナスする。</p> <p>【後期】 期末試験・出席状況・課題提出回数及びその内容・発表回数及びその内容・授業参加意欲を総合評価し判断する。期末試験前(10週目頃)に、中間試験の代わりとして一度課題ノートを提出する。 課題の未提出/指定した回数に満たない場合は、例外なく不認定とする。</p>			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)90%以上、出席率90%以上、平常点(授業参加意欲) 秀・優</p> <p>B: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点(授業参加意欲) 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)70%以上、出席率60%以上、平常点(授業参加意欲) 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)70%未満、出席率60%以下、平常点(授業参加意欲) 不良</p>			

学生へのメッセージ

現実的な「就職先」としてのエアライン業界の現状を理解するための授業です

シラバス(授業計画)

科目名	CA 講座 I・II		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース		授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	湊 さやか			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	エアライン業界にて客室乗務員として7年間の実務経験あり。		
授業概要	<p>将来客室乗務員として働くために必要な航空業界の基礎知識を習得します。 一機の飛行機が安全に飛び立つには、空港で働く様々なスタッフの協力と関わり合いが重要です。 客室乗務員もチームの一員です。前期はチーム内の連携がスムーズにいくために必要となる業界用語、2レター、3レター、旅客の出入国の流れ、等を学びます。後期はより客室乗務員に特化した知識の習得となります。サービス要員として行う機内販売で取り扱うブランド商品について学び、各国通貨での支払いの計算方法を習得します。保安要員としては、航空機事故や緊急時の事例を学習することにより、客室乗務員の使命を理解します。</p>			
到達目標	内容を全て理解し、習得する。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	天声人語書き写しノート・学習用（朝日新聞）242円(税込み) プリント配布			
授業計画	<p>成田空港・羽田空港の就航航空会社2レターコード 出国手続きの流れ / 受託手荷物・機内持ち込み制限 入国手続きの流れ / 免税範囲・課税計算 機内持ち込み/受託手荷物の制限と超過料金 業界用語 E チケット記載内容 日本および世界主要都市の空港3レターコード 成田空港 vs 羽田空港 アライアンスとマイレージの目的、メリット CA業務の流れ CAの編成に関する規則とCAの資格の種類 機内食の種類とコード VISAの種類 乗り継ぎにおける出入国審査と税関 世界の通貨と機内販売での計算 海外ブランドとその特徴 危険物の種類とカテゴリー 機内の違反行為について ハイジャック 航空機事故の事例 航空会社の安全対策</p> <p>【宿題】 天声人語を書き写し、要約や言葉の意味を調べることで、文章力や表現力を伸ばす。また、時事問題への関心を高める。</p>			
成績評価 方法	授業への参加意欲 授業内小テスト 期末テスト			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率85%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率70%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率70%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

評価試験は満点、出席率は100%が当たり前として取り組んでください。

シラバス(授業計画)

科目名	CA実技 I・II			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	湊 さやか 実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無 エアライン業界にて客室乗務員として7年間の実務経験あり。				
授業概要	客室乗務員として働くための接客技術を基礎から学びます。機内モックアップを使用したロールプレイを中心に、サービス業務と保安業務の流れと動作を習得します。後期はエアポートサービスコースとの合同授業となり、11月の中村学園祭で発表するシミュレーションフライトに向けて、繰り返し練習を行います。				
到達目標	機内接客にふさわしい所作と言葉遣いで、機内サービス、機内アナウンス、保安業務を行うことが出来る。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	プリント配布				
授業計画	<p>【立居振舞】 姿勢・お辞儀・笑顔・視線 スカーフの結び方</p> <p>【実技演習】 機内アナウンス(ウェルカム)読み合わせ/実践 非常用設備のご案内 動作の確認/実践 機内サービス 動作の確認/実践 機内アナウンス(到着)読み合わせ/実践 通し練習/実技テスト</p> <p>【シミュレーションフライト練習】 チーム分け、役割分担、流れの確認 チームごとに通し練習 本番を想定したリハーサル</p> <p>【シミュレーションフライト発表】 学園祭での発表</p>				
成績評価 方法	授業への参加意欲 実技完成度				
成績評価 基準	A:実技評価(完成度)90%以上、出席率90%以上、平常点優 B:実技評価(完成度)80%以上、出席率85%以上、平常点良 C:実技評価(完成度)70%以上、出席率70%以上、平常点可 D:実技評価(完成度)70%未満、出席率70%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

学園祭での成果発表に向けて、接客スキルを磨きましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	アマデウス I・II			科目区分	専門科目
対象	エアラインキャビンアテンダントコース、エアポートコース			授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	湊 さやか、栗原 和希				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	栗原：物流関連企業にて17年の実務経験あり。			
授業概要	アマデウスはGDS(Global Distribution System)として、全世界の航空会社や旅行会社にとって航空券やホテルなどを手配するための必要不可欠なシステムとなっています。アマデウスの国際線予約基本操作を習得し、アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格取得を目指します。				
到達目標	①アマデウスシステムでの予約記録が作成できること。 ②アマデウスシステム検定試験 Amadeus Reservation Fundamentals 資格の取得。				
検定資格	なし ・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 任意 名称：アマデウスシステム検定試験				
教科書 教材	Amadeus 予約ユーザーガイド (最新版) アマデウス予約クイックガイド				
授業計画	<p>【各種コード検索/空席照会/空席照会からの予約】 都市・空港・航空会社コードの検索 空席照会オプション、ショートカット、2区間の空席照会 予約方法、ステータス(予約)コードを理解する 乗継ぎ便・取消待の予約方法、オープンセグメント、ARNKを理解する</p> <p>【予約記録 PNR 作成】 基本 PNR の入力必須項目と抽出を理解する PNR の作成(複数人の名前入力)が出来るようにする PNR の作成(INF・CHD の名前入力)が出来るようにする</p> <p>【SSR 入力/座席のリクエスト/旅程の取消・変更】 SSR の入力、座席リクエストなどが出来るようにする PNR を取り出し、取消・変更などができるようにする</p> <p>【過去問練習】 過去問練習・解説</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	ワールドディスティネーションズ I・II		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	旅行業界にて旅程管理実務経験あり。		
授業概要	<p>みなさんが本校で学ぶ科目の多くは、世界地理の知識を必要とします。2年間を通しての本科目の目的は、大きく分けて以下の3つです。</p> <p>① 世界の主だった渡航先について幅広く学び、基本的な知識を身に着ける</p> <p>② アマデウスやディプロマ等、他科目の学習の手助けとなる</p> <p>③ 世界の国や地域の事情について考察できるようになる</p> <p>1年次・前期: 概論(地図の把握/世界の主要な国・首都・空港所在地の把握/代表的な観光資源・文化および輸出品)</p> <p>1年次・後期 ~ 2年次・前期: 各論</p> <p>また、授業内容に関連しそうなニュースがあれば、その週のトピックスとして取り上げます。</p>			
到達目標	1年次: 緯度経度とそれに関連する事項について理解し、考察することができる。世界のエリア、主要な国や地域、都市、空港所在地を地図上で把握することができる。各地の特徴を大まかに把握することができる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書教材	旅に出たくなる地図 世界 (帝国書院) 世界白地図 (JTB 総合研究所) プリント適宜配布			
授業計画	<p>前期</p> <p>【学びの目的】 授業の目的について説明</p> <p>【地図の把握】 投影法の種類と目的 / 緯度・経度(気候と時差) / 大陸と地域</p> <p>【 概論 】 世界を7地域に分け、各地域の基本情報(主な渡航先、首都、主要空港、時差、通貨、言語、宗教、代表的な観光資源、諸事情ほか)を学ぶ。小テストを実施する。</p> <p>後期</p> <p>【 各論 】 アジア(韓国/中国本土/香港・マカオ/台湾/ベトナム/カンボジア/タイ/マレーシア/シンガポール/インドネシア/フィリピン/インド/ネパール/中東(トルコ/UAE)ヨーロッパ(英国/フランス) その後は2年次に引き継がれる</p> <p>【 期末試験と解説 】 各期2時間ずつ</p> <p>【 研修旅行に向けて 】 渡航先について学ぶ(前期)</p> <p>履修内容・順番は変更される場合があります。</p>			
成績評価方法	出席率、授業態度、意欲、評価試験			
成績評価基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、かつ出席率80%以上、かつ平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、または出席率70%以上、または平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)40%以上、または出席率60%以上、または平常点 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)40%未満 または 出席率60%未満 または 平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

“ディスティネーションズ Destinations”とは、「旅行などの目的地」という意味です。航空会社や空港、貨物等、国際的なものに関わって活躍しようとする皆さんにとって、世界の地勢や国々に関する基本的な情報は必須です。机の上で、一緒に世界の旅に出ながら、知識を深めましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	エクササイズⅠ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	北原 大輔			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	スポーツインストラクターとして実務経験あり。		
授業概要	健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、また、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体カレベルを保持しておくことが望ましいと言えます。 基本的な運動を通じて精神力と敏捷性、持久性、平衡性など、はつらつとした身体をつくります。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、運動習慣を体得し、生涯に渡り運動・スポーツを実践できるようになることを目指します。加えて、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。			
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践(自己目標の設定)			
検定資格	なし			
教科書教材	必要に応じてプリント配布			
授業計画	<p>【健康と体力/筋トレⅠ/「投げる」球技スポーツ/ウォーキング、ランニング】 「健康」、体力、「健康と体力の関係」について学ぶ 筋トレ、器具の使い方や効果について バスケットボールなど(競技特性・ルールの理解と実践) ウォーキング、ランニングの正しいやり方と効用</p> <p>【ストレッチング/持久カトレーニング】 ストレッチングの意義と実践 持久カトレーニングの意義と実践(持続性トレーニング)</p> <p>【筋トレⅡ/球技スポーツ/運動と安全/体力の測定と評価】 前期より負荷を挙げて筋力アップを図る 傷害の理解と予防 形態計測、筋力測定、運動能力テストの実施と評価</p>			
成績評価方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して20点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。			
成績評価基準	A: 授業内期末試験 70点以上、出席率90%以上、平常点15点以上 優 B: 授業内期末試験 50点以上、出席率60%以上、平常点10点以上 良 C: 授業内期末試験 30点以上、出席率60%以上、平常点5点以上 可 D: 授業内期末試験 30点未満、出席率60%未満、平常点5点未満 不可			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	Presentation Skills		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	担当講師			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	21世紀に入り、ビジネスの世界ではプレゼンテーションの重要性が近年ますます高まっています。学生が高い関心を持つトピックを選び、(、喫煙・飲酒、携帯電話、結婚など)それぞれの論点を把握、それに関する英語表現を学びコミュニケーション能力を高める			
到達目標	国際共通語である英語で、自己表現と、議論ができるようになることを目的とする。 学内の Speech Contest の際に上位入賞を目指す。(実績としては優勝、準優勝など)			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	Which side are you on? 成美堂 (前期購入済み)			
授業計画	<p>【Limit traffic in the city centers?/Should both parents work?】 Reading → 論点を見つける → Pros & Cons → 議論の手法を学ぶ → 発展応用練習</p> <p>【Should develop computer skills?/Should we continue to develop human cloning technology?】 Reading → 論点を見つける → Pros & Cons → 議論の手法を学ぶ → 発展応用練習</p>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率60%以上、平常点 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率60%未満、平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

What matters most is to express why you think!!

シラバス(授業計画)

科目名	エアライン受験対策		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
	後期：15時間			
担当	担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。		
授業概要	<p>エアライン業界独特の面接試験に重点を置いた受験対策講座です。</p> <p>【講義】自己分析と企業研究の重要性及びその方法を学習した後、各自でその作業を進める。順次自己PRと志望動機を作成していきます。(企業の面接時期に合わせて逐次個別に対応していきます)。面接試験の目的や流れ・具体的なチェックポイントや基本的な言葉遣いを学習します。</p> <p>【演習】模擬面接や質疑応答の反復練習とフィードバックを繰り返し、表情や視線・立ち居振る舞い等の実践的なスキルを体得していきます。</p>			
到達目標	<p>○就職活動の軸である「自己分析と企業研究」の重要性と必要性を理解し、各自が適時進められるようにする。</p> <p>○人から見られる事や緊張する事に慣れ、面接試験本番においてより適切な第一印象を残せるようにする。</p>			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書教材	適宜プリント配布			
授業計画	<p>① 授業の目的と進め方の説明 就職活動とは</p> <p>② 自己分析と企業研究について 重要性/必要性と、進め方</p> <p>③ 面接試験の目的と流れ 入室 ~ 退室まで・具体的な質問内容とその意図</p> <p>④ 第一印象とチェックポイント みだしなみ・表情・視線・立ち居振る舞い(立ち方・歩き方・座り方・お辞儀等)メラビアン[®]の法則を参照</p> <p>⑤ 言葉遣いと話し方 敬語の使い方 ・ 声の大きさ/強さ/トーン ・ 話すスピードなど</p> <p>⑥ 模擬面接 反復練習 (チェックポイントの再確認 ・ フィードバック)</p> <p>【適宜個別対応】 自己分析・企業研究・自己PR・志望動機など</p>			
成績評価方法	評価試験(講義内容の理解度/自己PR・志望動機の進捗状況)・出席状況・授業参加意欲(平常点)で総合評価			
成績評価基準	<p>A : 評価試験(理解度・進捗状況)90%以上、出席率90%以上、平常点 優</p> <p>B : 評価試験(理解度・進捗状況)80%以上、出席率80%以上、平常点 良</p> <p>C : 評価試験(理解度・進捗状況)70%以上、出席率60%以上、平常点 可</p> <p>D : 評価試験(理解度・進捗状況)70%未満、出席率60%以下、平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

最初は緊張して当たり前です。大切なのは実際に身体を動かしてやってみる事！
繰り返し何度も何度も練習していく内に、いつの間にか身体が覚えていきます。さあ、背筋を伸ばして笑ってみましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	美育		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース		授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期 : 1 単位	時間数
担当	湊 さやか			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	エアライン業界にて客室乗務員として7年間の実務経験あり。		
授業概要	一般的に客室乗務員に求められる素養を育てることを目的に、様々な課題にチャレンジします。メインは国内二大エアラインであるJALとANAの企業理解にあり、それぞれの特徴を調べ、話し合い、企業の特徴を活かした企画・提案を考え発表します。			
到達目標	①感性を豊かに、何事にも興味を持ち、チャレンジする。 ②座禅を通して心を整える術を習得する。 ③JALとANAについての理解を深める。			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	なし(プリント配布)			
授業計画	<p>【読書(感性)】 課題文章を読み、感じたことを口頭で発表する。</p> <p>【座禅(精神)】 座禅の講義と実践。</p> <p>【JALとANA(企業理解)】 ホームページや関連書籍を読み、自分の意見、感想を仲間と共有する。 企業の特徴を考え、まとめる。 特徴を活かした企画・提案を考える。 パワーポイントやロールプレイ等で発表する。</p>			
成績評価 方法	授業への参加意欲 発表内容の成熟度			
成績評価 基準	A: 発表評価(深度・理解度)90%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 発表評価(深度・理解度)80%以上、出席率 85%以上、平常点良 C: 発表評価(深度・理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点可 D: 発表評価(深度・理解度)70%未満、出席率 70%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	Airport Study		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期：2単位	時間数
担当	各企業ご担当者様			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	エアライン企業現役社員が担当。		
授業概要	成田国際空港と羽田空港を実際に訪れ、航空関連企業様を見学させていただき、業務内容や現場を知る。成田国際空港と羽田空港でご活躍されている企業様より直接講義、説明、施設見学をしていただくことで、航空業界の現状を直に学ぶ。			
到達目標	航空業界の現状を直に学び、就職活動への意識向上を図る。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>【TOKYO GLOBAL GATEWAY】 英語「を」活用する「アトラクション・エリア」と英語「で」学ぶ「アクティブイマージョン・エリア」のプログラム体験</p> <p>【成田国際空港企業訪問①】 1社目：企業様講義(企業概要、業務内容、など) 1社目：職場視察 2社目：企業様講義(企業概要、業務内容、など) 2社目：職場視察</p> <p>【成田国際空港企業訪問②】 1社目：企業様講義(企業概要、業務内容、など) 1社目：職場視察 2社目：企業様講義(企業概要、業務内容、など) 2社目：職場視察</p> <p>【羽田空港企業訪問①】 1社目：企業様講義(企業概要、業務内容、など) 1社目：職場視察 2社目：企業様講義(企業概要、業務内容、など) 2社目：職場視察</p> <p>【羽田空港企業訪問②】 1社目：企業様講義(企業概要、業務内容、など) 1社目：職場視察 2社目：企業様講義(企業概要、業務内容、など) 2社目：職場視察</p>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 100%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC Advanced 集中講座			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数	後期 : 2 単位	時間数	後期 : 30 時間
担当	担当講師				
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	世界で通用するコミュニケーション英語能力の必要性は益々高まりつつあります。企業の採用条件にも TOEIC の取得スコアが明記されています。その社会のニーズに対応する授業を行ない、結果として就職を有利にする。				
到達目標	客室乗務員採用条件の、必要最低点数 TOEIC スコア 600~700 点以上取得を目指す。 公開テスト、IP test 直前の特別補講授業において、模試スタイルを採用し、本番のテストに備える。図表や文脈を解釈する新方式の問題に慣れる。				
検定資格	なし・ <input type="checkbox"/> 必修・任意 名称: TOEIC				
教科書 教材	プリント配布				
授業計画	<p>【リスニング問題対策】 リスニング問題演習、発話者の発声、言い回しに慣れる</p> <p>【リスニング問題対策】 リスニング問題演習、図表／文脈解釈の新方式に慣れる</p> <p>【リーディング問題対策】 Business English の語彙、文型、読解力に要点を置く</p> <p>【模擬試験 解説／解答】 実際のテスト形式を採用、内容、時間配分を身につける</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	海外語学留学			科目区分	専門科目	
対象	エアライン科キャビンアテンダントコースエアポートカーゴコース			授業形式	演習	
実施期	1年 後期	単位数	後期 : 5 単位	時間数	後期 : 75 時間	
担当	語学学校担当講師					
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/> 無					
授業概要	①語学学校で General English コースを受講する。(レベル別) ②海外生活を経験しながら英語コミュニケーションスキルを磨き、異文化を理解する。 ③6 月に受験する第 1 回目の TOEIC から、9 月受験の第 2 回目に向けてスコアアップを目指す。					
到達目標	①完璧な英語でなくても、積極的にコミュニケーションをとることが出来る。 ②異文化に対してオープンマインドである。 ③TOEIC を 100 点以上スコアアップさせる。					
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:					
教科書 教材	現地語学学校指定教材					
授業計画	Level 1-9 Beginner English to University Proficient English Beginner to High-Intermediate students start with General English before moving on to more advanced courses. Through the Cambridge Communicative Method, students develop all 4 language skills (speaking, listening, reading and writing).					
		Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
	8:30-11:10	Principal Course	Principal Course	Principal Course	Principal Course	Principal Course
	Break 30 minutes					
	11:40-13:00	Principal Course	Elective Course	Principal Course	Elective Course	Principal Course
	Break 20 minutes					
13:20-14:40	Power English	Power English	Power English	Power English		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく					
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率 60%未満、平常点不可					

学生へのメッセージ

--

エアポートコース

専門科目

シラバス(授業計画)

科目名	English Communication I・II		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	Native teacher			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	Students will improve their English communication skills with a variety of conversation, speaking and activity-based classes with a native English teacher.			
到達目標	Students will become used to interacting with a native English speaker, and learn a variety of English skills that they will be able to use in future at work and when travelling and studying abroad.			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	Stretch: Level 1: Student Book with Online Practice (Oxford)		3,454 円	
授業計画	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> - Jobs - Daily Activities - At the Moment - Feelings - On the Weekend - Downtown <p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> - People we Admire - At the Supermarket - Health Problems - Cities - Music - Travel Plans 			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験 60 点以上、出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D: 評価試験 60 点未満、出席率 60%未満、平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC 対策 I・II			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：3単位 後期：3単位	時間数	前期：45時間 後期：45時間
担当	岡野恵美子				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	航空業界で要求される TOEIC スコアになるべく早く到達することを目標とします。まずスコア獲得に必要な頻出文法を復習し、TOEIC テスト必須の語彙を増やします。そして出題内容に即した演習を数多くこなしながら、各パートの解答のコツを習得していきます。				
到達目標	TOEIC スコア エアポートサービスコース 500 点以上・カーゴコース 400 点以上				
検定資格	なし・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修・任意 名称: TOEIC				
教科書 教材	TOEIC L&R テスト書き込みドリル「スコア 500 全パート入門編」新形式問題対応 桐原書店 TOEIC L&R 公式ポキャブラリーブック (IIBC)				
授業計画	<p>【リーディング Part5&6 対策】 テキスト及び公式問題集を中心とした問題演習 頻出単語やフレーズの学習、プリントを使用した基本文法復習</p> <p>【リーディング Part7 対策】 テキスト及び公式問題集を中心とした長文テーマ別の演習</p> <p>【リスニング Part1&2 対策】 テキスト及び公式問題集を使用した写真問題、応答問題の演習</p> <p>【リスニング Part3&4 対策】 テキスト及び公式問題集を使用した会話文、説明文の問題演習</p>				
成績評価 方法	毎週のチェックテストに加え、TOEIC 受験直前には模擬試験を実施し、平常点に加点します。また学期末には評価試験を行い、出席率、TOEIC スコアと共に総合的に判断します。				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC 対策 I・II		科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース		授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 : 3 単位 後期 : 3 単位	時間数 前期 : 45 時間 後期 : 45 時間
担当	日隈 敬子			
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	このクラスでは今まで習ってきた英語を復習し、TOEIC のための攻略法を身につけていきます。しっかりとした目標を持ち、それに向かって努力すれば結果は必ずついてきます。TOEIC の問題に慣れ、目標点が取れるよう頑張りましょう！			
到達目標	TOEIC のテスト形式や出題内容に慣れる。TOEIC の解答方法を身に付ける。400 点以上を取れるようにする。			
検定資格	なし・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修・任意 名称: TOEIC			
教科書 教材	TOEIC L&R テスト 書き込みドリル「スコア 500 全パート入門編」 桐原書店 TOEIC L&R 公式ボキャブラリーブック IIBC			
授業計画	<p>各パートの出題形式を知り、解答手順、時間配分を確認する。 練習問題(50 問、30 分)や模試(200 問、2 時間)に取り組み、弱点をチェックし、重要点を押さえる。 単語は授業内でゲームを通して確認する。</p> <p>【リスニング Part1&2】 最もスコアを上げやすいこのパートを確実に得点するために、必要な基礎力を段階的に築く。 集中力を維持しつつ、コツをつかんで正答率を上げていく。</p> <p>【文法の復習&語彙/リーディング Part5&6】 基礎的な文法知識だけを用いて解ける問題を確実に正解できるようにするため、文法のポイント、単語の結びつきや文脈をチェックし、解答時間の短縮が図れるよう攻略を身に付ける。</p> <p>【長文に慣れる/リスニング Part3&4/リーディング Part7】 スピード対応能力(速い英語が聞ける、速く読める)を養うため リスニングの後、スクリプトを音読する。 リーディングもリスニング同様、内容を日本語に置き換えるのではなく、頭の中でイメージし英語を英語で理解できるようにする。</p>			
成績評価 方法	評価試験は小テスト(30%)、期末テスト(70%)とする。			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

学生へのメッセージ

中学、高校の時、英語が苦手でも基礎からやり直せば大丈夫です。もちろん時間はかかりますが、目標に向かって真剣に取り組んでみましょう！

シラバス(授業計画)

科目名	Ideas & Opinions		科目区分	専門科目
対象	エアラインキャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数
担当	担当講師			
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	21世紀に入り、ビジネスの世界ではプレゼンテーションの重要性が近年ますます高まっています。学生が高い関心を持つトピックを選び、(、喫煙・飲酒、携帯電話、結婚など)それぞれの論点を把握、それに関する英語表現を学びコミュニケーション能力を高める			
到達目標	国際共通語である英語で、自己表現と、議論ができるようになることを目的とする。 学内の Speech Contest の際に上位入賞を目指す。(実績としては優勝、準優勝など)			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	Which side are you on? 成美堂			
授業計画	<p>【Cell phone/ life style】 Reading →論点を見つける→Pros & Cons →議論の手法を学ぶ→発展応用練習</p> <p>【Should we marry earlier or later】 Reading →論点を見つける→Pros & Cons →議論の手法を学ぶ→発展応用練習</p>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率60%以上、平常点 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率60%未満、平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

What matters most is to express why you think!!

シラバス(授業計画)

科目名	英語基礎文法Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアラインキャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	湊 さやか			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>			
授業概要	TOEIC や英会話で活用できる英文法の基礎をしっかりと理解できるように解説をしていきます。また、解説と同時にTOEIC で通用する問題を解いていくことでTOEIC の得点アップを目指していきます。			
到達目標	基礎的な英文法をしっかりと理解し、TOEIC や英会話に応用できるようになる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	TOEIC テスト英文法をひとつひとつわかりやすく Gakken ¥1540			
授業計画	<p>【品詞】</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの品詞の役割を理解する <p>【時制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在形、過去形、未来形、完了形それぞれの特徴と意味を理解する <p>【分詞】</p> <ul style="list-style-type: none"> 分詞の特徴と意味を理解する <p>【受動態】</p> <ul style="list-style-type: none"> 受動態の構成と使い方を理解する <p>【不定詞と動名詞】</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの構成と意味、違いを理解する <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際の問題を通して、理解を深める 			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)50%未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	身だしなみ講座		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期	単位数	前期 2 単位	時間数
担当	秋元幸子			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	美容業界にて実務経験あり。		
授業概要	自身の美しさを最大に引き出すメイクアップ理論と技術を基本から学びます。更に、長時間の撮影にも崩れず美しさをキープする女優メイクのプロ技術や裏ワザを修得することができます。カラーコーディネートや TPO に合わせたメイク、リクルートメイクとヘアも学びます。			
到達目標	基本のメイクアップ理論と技術の取得で、自身の美しさを引き出し、自信をもってリクルートメイクとヘアを完成できるレベルになる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>【メイクアップ理論 1/メイクアップ理論 2/スキンケア 1/スキンケア 2】 メイクアップの目的と意義 光と色、カラーコーディネート お肌と心と体の関係性、デドックス等 基礎化粧品の使用法と効果とお手入れ方法</p> <p>【クレンジング/ベースメイクアップ技術 1/ベースメイクアップ技術 2/ベースメイクアップ技術 3】 ポイントクレンジングと全体クレンジングのプロセス ベースメイクアッププロセスと基本の指使い コントロールカラー、ファンデーション、ハイライト フェイスパウダー等使用法復習</p> <p>【メイクアップのポイントとカラーコーディネート】 眉の描き方、アイホールの確認、アイシャドウ、チーク、リップ 美しい肌作り、まつげカール、シェーディング</p> <p>【メイクアップのポイント/TPO に合わせたメイクアップ 1/TPO に合わせたメイクアップ 2】 冠婚葬祭、日常のシーンでのメイクアップ まとめ</p> <p>【リクルートメイク、ヘア 1/リクルートメイク、ヘア 2/リクルートメイク、ヘアの完成】 リクルートメイク、ヘアの理論と実習 リクルートメイク、ヘアの実習 リクルートメイク、ヘアを完成し、作品公表と評価</p> <p>【授業全体のまとめ】 まとめとテスト</p>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)90%以上、出席率 100%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	エアライン概要Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	担当講師：須田 礼美			
	実務経験：有・無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。		
授業概要	<p>エアライン業界の現状を知ることが目的の講座です。</p> <p>【Ⅰ・前期】航空業界の基礎知識を学習する。 学んだ知識を基に、グループ毎にテーマに沿ったプレゼンテーションを行う。</p> <p>【Ⅱ・後期】課題を通して業界の変わりゆく現状を理解・把握した上で、就職活動につなげていく。 興味を持ったエアライン業界のニュース(業界の最新情報)について調べ、要約し考察して発表する。</p>			
到達目標	<p>○エアライン業界の基礎知識を習得し、最新情報を理解し、業界の現状を把握する。</p> <p>○グループワークを通して知識を定着させ、コミュニケーション力と協調性を体得する。</p> <p>○課題を通して就職活動に必要な企業研究の進め方を身に付け、自分の意見をまとめる力を培う。</p> <p>○発表・質疑応答を通して、社会人として必要な言葉遣いや文章構成力・伝わる話し方を身に付ける。</p>			
検定資格	なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	適宜プリント配布			
授業計画	<p>【航空業界基礎知識（Ⅰ・前期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ前とコロナ後の航空業界の現状 ○日本に乗り入れている外資系航空会社と日系航空会社 ○LC / MCC / LCC ○成田・羽田とその他の国内外の主要空港について ○「ポイント to ポイント」と「ハブ and スポーク」 ○アライアンス ○マイレージプログラム ○航空機メーカーと主要機種 (順序不同) <p>【グループワーク：プレゼンテーション（Ⅰ・前期）】 基礎知識として学習した内容を基に、グループ毎にテーマに沿ったプレゼンテーションの準備をし、発表する。</p> <p>【ニュースサマリーと発表（Ⅱ・後期）】 課題として、毎週各自が興味を持った業界ニュースを1つ選び、調べ、要約、考察したものをノートにまとめる。 授業では、まとめた内容を希望者が発表する。質疑応答で答えられなかった件は、再課題として次回までに調べて発表する。発表者・質問者共に講師からフィードバックを受ける。</p>			
成績評価 方法	<p>【前期】 期末試験・出席状況・プレゼンテーション及びグループワークへの貢献度・授業参加意欲などを総合評価して判断する。プレゼンテーションを欠席した場合は、平常点(100点満点)から50点をマイナスする。</p> <p>【後期】 期末試験・出席状況・課題提出回数及びその内容・発表回数及びその内容・授業参加意欲を総合評価し判断する。期末試験前(10週目頃)に、中間試験の代わりとして一度課題ノートを提出する。 課題の未提出/指定した回数に満たない場合は、例外なく不認定とする。</p>			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)90%以上、出席率90%以上、平常点(授業参加意欲) 秀・優</p> <p>B: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点(授業参加意欲) 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)70%以上、出席率60%以上、平常点(授業参加意欲) 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)70%未満、出席率60%以下、平常点(授業参加意欲) 不良</p>			

学生へのメッセージ

現実的な「就職先」としてのエアライン業界の現状を理解するための授業です

シラバス(授業計画)

科目名	カウンター実技 I・II			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートコース			授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	湊 さやか				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	エアライン業界にて客室乗務員として7年間の実務経験あり。			
授業概要	空港のグランドスタッフとして働くための接客技術を基礎から学びます。カウンター設備を使用したロールプレイを中心に、チェックイン業務と搭乗ゲート業務の流れと動作を習得します。後期はキャビンアテンダントコースとの合同授業となり、11月の中村学園祭で発表するシミュレーションフライトに向けて、繰り返し練習を行います。				
到達目標	空港での接客にふさわしい所作と言葉遣いで、グランドスタッフのチェックイン業務と搭乗ゲート業務を行うことが出来る。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	プリント配布				
授業計画	<p>【立居振舞】 姿勢・お辞儀・笑顔・視線 スカーフの結び方(女性)</p> <p>【実技演習】 チェックイン業務 読み合わせ チェックイン業務 実践 搭乗アナウンス 読み合わせ/実践 搭乗ゲート業務 動作確認/実践 通し練習/実技テスト</p> <p>【シミュレーションフライト練習】 チーム分け、役割分担、流れの確認 チームごとに通し練習 本番を想定したリハーサル</p> <p>【シミュレーションフライト発表】 学園祭での発表</p>				
成績評価 方法	授業への参加意欲 実技完成度				
成績評価 基準	A:実技評価(完成度)90%以上、出席率90%以上、平常点優 B:実技評価(完成度)80%以上、出席率85%以上、平常点良 C:実技評価(完成度)70%以上、出席率60%以上、平常点可 D:実技評価(完成度)70%未満、出席率60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

学園祭での成果発表に向けて、接客スキルを磨きましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	空港旅客サービス実務Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	松本 多英美				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	エアライン業界にてグランドスタッフとして6年間の実務経験あり。			
授業概要	空港で働くために必要な基礎知識と業務内容について学習し、空港で働くために必要な専門知識や業務内容について学習します。 グランドスタッフが使用する専門用語を学び、空港現場で活用できるよう身に付けます。 航空系企業の企業セミナーを授業内で行い、受験企業の選択や企業研究等、就職活動に活かします。				
到達目標	1年間で学ぶ内容をいかし、実際に空港で勤務する際に動じない即戦力を身に付けます。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	＜前期:空港旅客サービス実務Ⅰ＞			＜後期:空港旅客サービス実務Ⅱ＞	
	<p>【空港での仕事】 空港での仕事について</p> <p>【グランドスタッフの業務】 グランドスタッフの仕事内容 搭乗手続き～搭乗ゲートまで 旅客の流れとスタッフの流れ</p> <p>【航空業界の基礎知識】 空港の基礎知識 国内空港と3レターコード 海外空港と3レターコード 航空会社と2レターコード PHONETIC ALPHABET</p> <p>【国内空港 PR ポスター作成】 グループワーク</p>			<p>【空港基礎知識】 マルチエアポート パスポートについて E チケット、搭乗券、手荷物タグについて</p> <p>【旅客ハンドリング用語と略語】 専門用語と略語、表記の仕方</p> <p>【マイルージサービスとアライアンス】 マイルージサービスについて アライアンスとその特色 各社のマイルージサービス(グループワーク)</p> <p>【特別なお客様】 制限旅客と特殊旅客について 特別なお客様のチェックイン 座席の特性</p> <p>【企業セミナー】 空港接客系企業 グランドハンドリング系企業 航空貨物系企業</p>	
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上かつ出席率 80%以上、 平常点 優 B: 評価試験 70 点以上かつ出席率 70%以上、 平常点 良 C: 評価試験 50 点以上かつ出席率 60%以上、 平常点 可 D: 評価試験 50 点未満、 出席率 60%未満、 平常点 不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	グランドハンドリング実務 I			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 エアポートコース			授業形式	演習
実施期	1年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間
担当	企業担当者 松井 哲至				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	エアライン企業現役社員			
授業概要	グランドハンドリング業務を統括する企業様より、直接授業を行っていただきます。グランドハンドリングについての知識を深め、業界に求められるスキルなどを学び、将来の夢を掴むための一歩とします。				
到達目標	グランドハンドリングの業務内容、専門用語を理解する。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	プロジェクターを使用してパワーポイントのスライドが中心 必要に応じてプリント配布				
授業計画	<p>【(株)エコーパートナーズ】</p> <ol style="list-style-type: none"> グランドハンドリング全般 会社沿革／業務内容紹介(エコーの役割)／成田空港制限区域の基礎知識／ヒューマンファクターズ 手荷物・フライトハンドリング全般 手荷物とは?／国際線出発・到着ソーティング作業／フライトハンドリングとは?／機側作業初級 成田空港見学・TT 車乗体験(終日成田空港) 成田空港制限区域案内／PEACH フライトハンドリング作業見学／ANA 国際線ソーティング作業見学／本社にて TT 車乗 貨物ハンドリング・その他 旅客機と貨物機の違い／貨物取扱の流れ／機内清掃・CREW 送迎／ハンドリング業務全般のテスト <p>※内容は変更となる可能性がございます。</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

普段は現場の最前線で仕事をしている社員が講師として皆さんに授業をしますので楽しみにして下さい。直接聞いてみたいことがあれば遠慮はいりません。事前に質問事項をまとめておきましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	カーゴハンドリング入門	科目区分	専門科目
対象	エアライン科 エアポートコース	授業形式	講義
実施期	1年 前期	単位数	前期：1単位
担当	逢坂 理恵		
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	航空貨物取扱企業にて教育担当の実務経験あり。	
授業概要	コロナ禍で物流に対するニーズが高まり、その重要性が再認識されました。航空機で運ばれる貨物には実際にどのようなものがあるのでしょうか。また、どのような流れで世界中に貨物が運ばれているのでしょうか。この講座では、航空貨物に関する仕事について詳しく学んでいきます。コロナ禍における物流の重要性や面白さを感じながら学びましょう。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・航空貨物の流れを理解する。 ・航空貨物に関する仕事の種類や、実際の業務内容を理解する。 		
検定資格	<input type="checkbox"/> ・必修・任意 名称:		
教科書教材	講師作成教材		
授業計画	<p>【航空貨物とは】 物流の重要性とニーズ 航空貨物の特徴と種類 航空貨物の流れ 航空貨物に関わる仕事の種類と特徴</p> <p>【カーゴハンドリングの仕事】 航空機の構造と貨物室、ULD 航空運送状(AIR WAY BILL) 輸出業務の具体的な仕事 輸入業務の具体的な仕事・郵便 航空会社の業務 税関業務 代理店業務 上屋でのハンドリング業務</p> <p>【全体復習】 まとめ</p>		
成績評価方法	学期末に行う評価試験、出席状況と授業参加意欲により評価される。 (評価試験は欠席の場合、0点として取り扱う)		
成績評価基準	A. 評価試験(理解度)90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B. 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C. 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D. 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点 不可		

学生へのメッセージ

航空貨物を取り扱う仕事について学びます。貨物の流れやシステム、上屋での作業など、幅広い知識をつけるとともに、就職後に生かせる内容となっております。後期に学ぶ「ディプロマ対策」とも関連する内容となりますので、一緒にがんばりましょう。よろしくお願いいたします。

シラバス(授業計画)

科目名	アマデウス I・II		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	湊 さやか/栗原 和希 実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 栗原：物流関連企業にて17年の実務経験あり。			
授業概要	アマデウスはGDS(Global Distribution System)として、全世界の航空会社や旅行会社にとって航空券やホテルなどを手配するための必要不可欠なシステムとなっています。アマデウスの国際線予約基本操作を習得し、アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格取得を目指します。			
到達目標	①アマデウスシステムでの予約記録が作成できること。 ②アマデウスシステム検定試験 Amadeus Reservation Fundamentals 資格の取得。			
検定資格	なし ・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 任意 名称：アマデウスシステム検定試験			
教科書 教材	Amadeus 予約ユーザーガイド (最新版) アマデウス予約クイックガイド			
授業計画	<p>【各種コード検索/空席照会/空席照会からの予約】 都市・空港・航空会社コードの検索 空席照会オプション、ショートカット、2区間の空席照会 予約方法、ステータス(予約)コードを理解する 乗継ぎ便・取消待の予約方法、オープンセグメント、ARNKを理解する</p> <p>【予約記録 PNR 作成】 基本 PNR の入力必須項目と抽出を理解する PNR の作成(複数人の名前入力)が出来るようにする PNR の作成(INF・CHD の名前入力)が出来るようにする</p> <p>【SSR 入力/座席のリクエスト/旅程の取消・変更】 SSR の入力、座席リクエストなどが出来るようにする PNR を取り出し、取消・変更などができるようにする</p> <p>【過去問練習】 過去問練習・解説</p>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	ワールドディスティネーションズ I・II		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	旅行業界にて旅程管理実務経験あり。		
授業概要	<p>みなさんが本校で学ぶ科目の多くは、世界地理の知識を必要とします。2年間を通しての本科目の目的は、大きく分けて以下の3つです。</p> <p>① 世界の主だった渡航先について幅広く学び、基本的な知識を身に着ける ② アマデウスやディプロマ等、他科目の学習の手助けとなる ③ 世界の国や地域の事情について考察できるようになる</p> <p>1年次・前期: 概論(地図の把握/世界の主要な国・首都・空港所在地の把握/代表的な観光資源・文化および輸出品) 1年次・後期 ~ 2年次・前期: 各論 また、授業内容に関連しそうなニュースがあれば、その週のトピックスとして取り上げます。</p>			
到達目標	1年次: 緯度経度とそれに関連する事項について理解し、考察することができる。世界のエリア、主要な国や地域、都市、空港所在地を地図上で把握することができる。各地の特徴を大まかに把握することができる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書教材	旅に出たくなる地図 世界(帝国書院) 世界白地図(JTB 総合研究所) プリント適宜配布			
授業計画	<p>前期 【学びの目的】 授業の目的について説明 【地図の把握】 投影法の種類と目的 / 緯度・経度(気候と時差) / 大陸と地域 【概論】 世界を7地域に分け、各地域の基本情報(主な渡航先、首都、主要空港、時差、通貨、言語、宗教、代表的な観光資源、諸事情ほか)を学ぶ。小テストを実施する。</p> <p>後期 【各論】 アジア(韓国/中国本土/香港・マカオ/台湾/ベトナム/カンボジア/タイ/マレーシア/シンガポール/インドネシア/フィリピン/インド/ネパール/中東(トルコ/UAE)ヨーロッパ(英国/フランス) その後は2年次に引き継がれる</p> <p>【期末試験と解説】 各期2時間ずつ 【研修旅行に向けて】 渡航先について学ぶ(前期)</p> <p>履修内容・順番は変更される場合があります。</p>			
成績評価方法	出席率、授業態度、意欲、評価試験			
成績評価基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、かつ出席率80%以上、かつ平常点 優 B: 評価試験(理解度)60%以上、または出席率70%以上、または平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、または出席率60%以上、または平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満 または 出席率60%未満 または 平常点 不可			

学生へのメッセージ

“ディスティネーションズ Destinations”とは、「旅行などの目的地」という意味です。航空会社や空港、貨物等、国際的なものに関わって活躍しようとする皆さんにとって、世界の地勢や国々に関する基本的な情報は必須です。机の上で、一緒に世界の旅に出ながら、知識を深めましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	エクササイズⅠ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	北原 大輔			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	スポーツインストラクターとして実務経験あり。		
授業概要	健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、また、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体カレベルを保持しておくことが望ましいと言えます。 基本的な運動を通じて精神力と敏捷性、持久性、平衡性など、はつらつとした身体をつくります。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、運動習慣を体得し、生涯に渡り運動・スポーツを実践できるようになることを目指します。加えて、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。			
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践(自己目標の設定)			
検定資格	なし			
教科書教材	必要に応じてプリント配布			
授業計画	<p>【健康と体カ/筋トレⅠ/「投げる」球技スポーツ/ウォーキング、ランニング】 「健康」、体カ、「健康と体カの関係」について学ぶ 筋トレ、器具の使い方や効果について バスケットボールなど(競技特性・ルールの理解と実践) ウォーキング、ランニングの正しいやり方と効用</p> <p>【ストレッチング/持久カトレーニング】 ストレッチングの意義と実践 持久カトレーニングの意義と実践(持続性トレーニング)</p> <p>【筋トレⅡ/球技スポーツ/運動と安全/体カの測定と評価】 前期より負荷を挙げて筋力アップを図る 傷害の理解と予防 形態計測、筋力測定、運動能力テストの実施と評価</p>			
成績評価方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して20点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。			
成績評価基準	A: 授業内期末試験 70点以上、出席率90%以上、平常点15点以上 優 B: 授業内期末試験 50点以上、出席率60%以上、平常点10点以上 良 C: 授業内期末試験 30点以上、出席率60%以上、平常点5点以上 可 D: 授業内期末試験 30点未満、出席率60%未満、平常点5点未満 不可			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	Presentation Skills		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	担当講師：小野寺 和子			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	教育機関での語学指導経験あり		
授業概要	21世紀に入り、ビジネスの世界ではプレゼンテーションの重要性が近年ますます高まっています。学生が高い関心を持つトピックを選び、(、喫煙・飲酒、携帯電話、結婚など)それぞれの論点を把握、それに関する英語表現を学びコミュニケーション能力を高める			
到達目標	国際共通語である英語で、自己表現と、議論ができるようになることを目的とする。 学内の Speech Contest の際に上位入賞を目指す。(実績としては優勝、準優勝など)			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	Which side are you on? 成美堂 (前期購入済み)			
授業計画	<p>【Limit traffic in the city centers?/Should both parents work?】 Reading → 論点を見つける → Pros & Cons → 議論の手法を学ぶ → 発展応用練習</p> <p>【Should develop computer skills?/Should we continue to develop human cloning technology?】 Reading → 論点を見つける → Pros & Cons → 議論の手法を学ぶ → 発展応用練習</p>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率60%以上、平常点 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率60%未満、平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

What matters most is to express why you think!!

シラバス(授業計画)

科目名	エアライン受験対策		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
	後期：15時間			
担当	担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。		
授業概要	<p>エアライン業界独特の面接試験に重点を置いた受験対策講座です。</p> <p>【講義】自己分析と企業研究の重要性及びその方法を学習した後、各自でその作業を進める。順次自己PRと志望動機を作成していきます。(企業の面接時期に合わせて逐次個別に対応していきます)。面接試験の目的や流れ・具体的なチェックポイントや基本的な言葉遣いを学習します。</p> <p>【演習】模擬面接や質疑応答の反復練習とフィードバックを繰り返し、表情や視線・立ち居振る舞い等の実践的なスキルを体得していきます。</p>			
到達目標	<p>○就職活動の軸である「自己分析と企業研究」の重要性と必要性を理解し、各自が適時進められるようにする。</p> <p>○人から見られる事や緊張する事に慣れ、面接試験本番においてより適切な第一印象を残せるようにする。</p>			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書教材	適宜プリント配布			
授業計画	<p>① 授業の目的と進め方の説明 就職活動とは</p> <p>② 自己分析と企業研究について 重要性/必要性和、進め方</p> <p>③ 面接試験の目的と流れ 入室 ~ 退室まで・具体的な質問内容とその意図</p> <p>④ 第一印象とチェックポイント みだしなみ・表情・視線・立ち居振る舞い(立ち方・歩き方・座り方・お辞儀等)メラビアン[®]の法則を参照</p> <p>⑤ 言葉遣いと話し方 敬語の使い方・声の大きさ/強さ/トーン・話すスピードなど</p> <p>⑥ 模擬面接 反復練習(チェックポイントの再確認・フィードバック)</p> <p>【適宜個別対応】 自己分析・企業研究・自己PR・志望動機など</p>			
成績評価方法	評価試験(講義内容の理解度/自己PR・志望動機の進捗状況)・出席状況・授業参加意欲(平常点)で総合評価			
成績評価基準	<p>A：評価試験(理解度・進捗状況)90%以上、出席率90%以上、平常点 秀・優</p> <p>B：評価試験(理解度・進捗状況)80%以上、出席率80%以上、平常点 良</p> <p>C：評価試験(理解度・進捗状況)70%以上、出席率60%以上、平常点 可</p> <p>D：評価試験(理解度・進捗状況)70%未満、出席率60%以下、平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

最初は緊張して当たり前です。大切なのは実際に身体を動かしてやってみる事！
繰り返し何度も何度も練習していく内に、いつの間にか身体が覚えていきます。さあ、背筋を伸ばして笑ってみましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	通関ビジネス検定対策		科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	栞原 和希			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	物流関連企業にて実務経験あり。		
授業概要	国際航空貨物取り扱いに際し、ロジスティクス業務・輸送・通関に至るまでの流れについて学ぶ。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・流通と物流 ・航空・海上輸送 ・ロジスティクス ・通関関連法並びに通関関連実務 			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	講師作成の資料			
授業計画	<p>【流通と物流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流通、物流の意義 <p>【航空・海上輸送】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空、海上輸送の概略 ・使用機材 ・航空運送状および船荷証券(AWB・B/L) <p>【ロジスティクス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3PLと4PL ・サプライチェーンおよびマネジメント <p>【通関関連法並びに通関関連実務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保税制度 ・HSコードと関税率 ・輸出入申告 ・関税、消費税その他知識 <p>【総復習】</p> <p>試験対策として過去問題を使用</p>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率70%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 普通</p> <p>D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点 不良</p>			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	グラウンドハンドリング実務Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートコース			授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：15時間
担当	企業担当者				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	エアライン企業現役社員が担当。			
授業概要	グラウンドハンドリング業務を統括する企業様より、直接授業を行っていただきます。グラウンドハンドリングについての知識を深め、業界に求められるスキルなどを学び、将来の夢を掴むための一歩とします。				
到達目標	グラウンドハンドリングの業務内容、専門用語を理解する。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	プロジェクターを使用してパワーポイントのスライドが中心 必要に応じてプリント配布				
授業計画	<p>【(株)エコーパートナーズ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 貨物ハンドリング教育Ⅰ 国際貨物の保税／輸出輸入の流れ／貨物上屋の特性 2. CAB教育 成田国際空港制限区域運転資格(CAB)とは／運転基礎教育／過去問によるテスト 3. BR教育(成田空港での弊社新人教育)体験 弊社が行うグラウンドハンドリング基礎教育を2日に分けて行ってまいります。 <p>※内容は変更となる可能性がございます。</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

普段は現場の最前線で仕事をしている社員が講師として皆さんに授業をしますので楽しみにして下さい。
直接聞いてみたいことがあれば遠慮はいりません。事前に質問事項をまとめておきましょうお願いします。

シラバス(授業計画)

科目名	エアカーゴ実務 I (貿易)			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートコース			授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数	後期 : 1 単位	時間数	後期 : 15 時間
担当	栞原 和希				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	貿易関連企業にて実務経験あり。			
授業概要	航空業界で使用する各種コード(2レター、3レター、Prefix)と共に国際航空貨物の基本的な流れ、各種業務、役割、手続きを学ぶ				
到達目標	航空会社・海外主要都市のレターコード、貿易に関する知識を習得。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	講師作成の資料				
授業計画	<p>【コード習得】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2レター 航空会社 ○3レター 都市・空港 ○Prefix 航空会社 授業開始時に小テストを実施 <p>【国際航空貨物の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○お客様 ○フォワーダー 航空貨物代理店 ○グランドハンドリング 空港地上支援業務 ○輸出入手続 ○NACCS(通関情報処理システム) ○日本の貿易管理制度(各種法令) 				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 普通 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点 不良				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	Airport Study		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期：2単位	時間数
担当	各企業ご担当者様			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	エアライン企業現役社員が担当。		
授業概要	成田国際空港と羽田空港を実際に訪れ、航空関連企業様を見学させていただき、業務内容や現場を知る。成田国際空港と羽田空港でご活躍されている企業様より直接講義、説明、施設見学をしていただくことで、航空業界の現状を直に学ぶ。			
到達目標	航空業界の現状を直に学び、就職活動への意識向上を図る。			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>【TOKYO GLOBAL GATEWAY】 英語「を」活用する「アトラクション・エリア」と英語「で」学ぶ「アクティブイマージョン・エリア」のプログラム体験</p> <p>【成田国際空港企業訪問①】 1社目：企業様講義(企業概要、業務内容、など) 1社目：職場視察 2社目：企業様講義(企業概要、業務内容、など) 2社目：職場視察</p> <p>【成田国際空港企業訪問②】 1社目：企業様講義(企業概要、業務内容、など) 1社目：職場視察 2社目：企業様講義(企業概要、業務内容、など) 2社目：職場視察</p> <p>【羽田空港企業訪問①】 1社目：企業様講義(企業概要、業務内容、など) 1社目：職場視察 2社目：企業様講義(企業概要、業務内容、など) 2社目：職場視察</p> <p>【羽田空港企業訪問②】 1社目：企業様講義(企業概要、業務内容、など) 1社目：職場視察 2社目：企業様講義(企業概要、業務内容、など) 2社目：職場視察</p>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率100%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC 集中講座		科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートコース		授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数	後期：2単位	時間数
担当	担当講師：岡野恵美子			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	TOEIC テスト受験直前対策として、より実践的な問題を中心に演習を行います。リスニングセクション、リーディングセクション共に、各パートに対応する実力強化を目標とします。そして時間配分の重要性を確認しながら本番形式の模擬試験を実施し、確実なスコアアップを目指します。			
到達目標	TOEIC スコア 500 点以上			
検定資格	なし・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修・任意 名称: TOEIC			
教科書 教材	プリント配布			
授業計画	<p>【リーディング問題対策】 各種問題集を使用したリーディングパートの問題演習</p> <p>【リスニング問題対策】 各種問題集を使用したリスニングパートの問題演習</p> <p>【リーディング & リスニング/模擬試験&解説】 なるべく本番に近い環境で模擬試験を実施し、その解説を通じて弱点を把握する</p>			
成績評価 方法	毎回の練習問題や模擬試験、そして学期末評価試験の結果に基づき、総合的に判断します。			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 70%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC 集中講座			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートコース			授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数	後期 : 2 単位	時間数	後期 : 30 時間
担当	担当講師 : 日隈 敬子				
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	文法や語彙を復習し TOEIC 模試を解くことで今まで身に付けた知識やスキルを正解に結びつけるようにする。				
到達目標	語彙力を高める。 時間配分を身に付ける。				
検定資格	なし・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修・任意 名称: TOEIC				
教科書 教材	プリント配布				
授業計画	<p>【TOEIC 頻出語句をチェック】 問題文や選択肢に出てくる語句の中から重要な物を抜粋し語彙力を高める。単語は授業内でゲームを通して確認する。</p> <p>【リスニング】 英語を語順通り理解するために、リスニングのスク립トを1分間に 100 語以上読めるようにする。</p> <p>【問題演習】 毎回小テストを行い、問題傾向をおさえながら、解答のコツをつかむ。</p> <p>【模試】 2 時間で 200 問を解くことに慣れるため、夏、冬の集中講座中に各 1 回模試を行う。間違った問題を確認し、英語力や解答力を上げられるよう何度も復習する。</p>				
成績評価 方法	毎日の小テスト 5 日分を評価試験とする。				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 70%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可</p>				

学生へのメッセージ

長期休暇中の講座ですが、自発的に予習、復習をし、強い学習意欲をもって受講してください！

シラバス(授業計画)

科目名	海外語学留学			科目区分	専門科目	
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース・エアポートコース			授業形式	演習	
実施期	1年 後期	単位数	後期 : 5 単位	時間数	後期 : 75 時間	
担当	語学学校担当講師					
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/> 無					
授業概要	①語学学校で General English コースを受講する。(レベル別) ②海外生活を経験しながら英語コミュニケーションスキルを磨き、異文化を理解する。 ③6 月に受験する第 1 回目の TOEIC から、9 月受験の第 2 回目に向けてスコアアップを目指す。					
到達目標	①完璧な英語でなくても、積極的にコミュニケーションをとることが出来る。 ②異文化に対してオープンマインドである。 ③TOEIC を 100 点以上スコアアップさせる。					
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:					
教科書 教材	現地語学学校指定教材					
授業計画	Level 1-9 Beginner English to University Proficient English Beginner to High-Intermediate students start with General English before moving on to more advanced courses. Through the Cambridge Communicative Method, students develop all 4 language skills (speaking, listening, reading and writing).					
		Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
	8:30-11:10	Principal Course	Principal Course	Principal Course	Principal Course	Principal Course
	Break 30 minutes					
	11:40-13:00	Principal Course	Elective Course	Principal Course	Elective Course	Principal Course
	Break 20 minutes					
13:20-14:40	Power English	Power English	Power English	Power English		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく					
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率 60%未満、平常点不可					

学生へのメッセージ

--